



富山は、今、新しい冬

＝ 総合雪対策基本計画 の概要 ＝

みんなで作る
雪に強い
いきいき富山

私たちの先人は、古くから雪が降り始めると外の仕事を休み春まで雪解けを待つという、雪に順応し雪に耐える生活を続けてきました。

しかし、都市化やモータリゼーションの進展など社会の状況は大きく変化してきています。

雪対策は、こうした社会の変化に対応し、新しい科学技術を活用した総合的なものとして進める必要があります。強く生きてきています。

また、雪は私たちのくらしにさまざまな障害を与えてきましたが、一方では、忍耐強く勤勉な県民性を培い、豊かな水の源として利用されるなど生活の多くの面で活かされてきました。

雪合戦やスキーなど冬の楽しみをもたらししてくれるのも雪です。さらに冷熱源としての利用など多くの開発の可能性も秘めています。

だけマイカーの使用を自粛し、道路交通の円滑化にご協力下さい。

また、気象や交通などの情報を的確に収集し提供する雪情報システムの開発や県の新防災行政無線、市町村の防災行政無線の整備を集めていきます。

三、産業の雪害を防止し、雪に強い産業の振興を図っていかねばなりません。

道路交通の確保などその活動基盤を整えることはもちろん、農林水産業においては雪に強い生産技術の開発に、また、商業においてはアーケードなどの整備された雪に強い明るい商店街づくりや消融雪施設の整備の促進を図っていきます。

四、豪雪になっても私たちの冬のくらしを安全なものにし、安心して生活できるようにするため、富山県地域防災計画により、予防・応急・復旧の対策を万全なものにします。



雪を邪魔者扱いにするのではなく、もっと雪に親しみ雪を利用することで、冬の富山は、さらに明るくいいききとしたものになるのではないのでしょうか。

雪は過去においても、未来においても、降りかか積もりを今、二十一世紀のふるさとを展望する時、私たちは、大いなる勇氣をもってこの雪と取り組み、真に雪と調和し共存する新しい郷土―雪に強いいきいき富山―を創造しなければなりません。

このような考え方で、富山県総合雪対策条例に基づき、総合雪対策基本計画がスタートしたところです。

○雪の中でも、生活の安全性や利便性が十分確保されている住みよい郷土

○生産、流通、消費などの社会活動が円滑に行われる活力ある郷土

○温かい人間関係が保たれ、文化的で個性豊かな潤いのある郷土

みんなの力で、
雪を克服

雪による障害を克服するため、の除排雪については、まさに県市町村、県民の総ぐるみによる取り組みが必要です。

一、道路の除排雪については、県では、国、市町村などの道路管理者と連携調整して、

毎年度道路除雪計画を策定し、県管理道路の除排雪を適切に実施します。車道

はもちろん、これからは特に、地域のみなさんの協力を得ながら歩道の除雪に力を入れていくことにしています。

県管理の道路、歩道の除雪及び県保有機械の整備目標

区分	単位	現況(59年度)	目標(65年度)
道路除雪延長	km	2,151.3	2,168.0
歩道除雪延長	km	69.7	221.0
県保有機械	台	162	235

雪に強い
まちづくりを

まず雪のもたらすいろいろな障害を克服するための基本は、私たちのまちや村そのものを雪に強くすることです。

まちづくりや村づくりを進める場合にはいつも雪のことを十分考えて事業を計画し実施していくことが重要です。

一、道路については、構造自体を雪に強くし、さらにそのネットワーク化を図っていく必要があります。

県では、昭和六十五年度までに、次の計画で雪に強い道路の整備を進めます。

県管理に属する道路改良防雪施設の整備目標

区分	単位	現況(59年度)	目標(65年度)
県管理に属する道路の改良率	%	77.0	86.0
消雪装置延長	km	206	356
流雪溝延長	km	48.6	63.0
スノーシェッド・雪崩防止壁延長	km	11.7	16.2

また、道路上の電線などを地下に埋設することや消融雪の効果を高める道路構造など新しい試みにも積極的に取り組んでいきます。

建築物を雪に強いものにすることも必要です。特に住宅の耐雪化については、モデル住宅集を作ったり、雪に強い家づくり資金の融資を充実し、その普及に努めます。屋根雪処理工法の開発も進めていきます。

二、県民生活や産業活動にとって、交通と情報通信の確保は欠くことのできない問題です。

バス路線の優先的除排雪を行うなど雪が降っても遅れない快適な公共交通体系の確立をめざしていきます。

県民のみなさんには、できる

61 富山冬のイベント

月日	イベント
1. 15	富山市雪のふれあい市 (10:00~14:00 産業奨励館、城址公園内)
1. 15	86とやま雪まつり (富山市)
1. 17	86全国克雪・利雪シンポジウム (10:00~ 県民会館)
1. 17	86克雪・利雪産業技術見本市 (富山産業展示館)
1. 18	スケーティングフェスティバル (富山スケートセンター)
1. 25	県体冬季大会 (スキー：宇奈月町)
1. 26	総合雪対策公開テレビシンポジウム (小矢部市)
1. 26	たかおか市民ふれあい市 (10:00~15:00 御旅屋通り)
1. 26	雪まつりとイキイキ大沢野の集い (大沢野小体育館・ランド)
2. 1	雪のファンタジーコンサート (14:00~ 県民会館)
2. 2	宇奈月温泉雪のカーニバル
2. 5	上平雪まつり
2. 5	利賀そばまつり
2. 9	第1回冬季県民レクリエーション大会「雪のシンフォニー」(太閤山ランド)
2. 16	総合雪対策公開テレビシンポジウム (高岡市)
2. 16	歩くスキーフェスティバル (太閤山ランド)
2. 22	86 Gondola 雪の祭典 (コンドラスキー場)
2. 23	86 Gondola 雪の祭典 (コンドラスキー場)
2. 28	冬のふれあい市 (10:00~18:00 城端町西町商店街)

県民の皆さんには、道路除排雪の支障となる路上の駐停車、特に夜間の駐停車をしないようお願いいたします。

二、それぞれの地域が面的に除排雪され日常生活に支障のない空間が確保されるためには、地域のみなさんによる地域ぐるみ除排雪が重要な役割を果たします。

自分たちの地域は自分たちで守る、援助が必要な老人や母子家庭などに対しても地域の中で温かい手をさしのべるといふ地域ぐるみ除排雪は、大きな効果をもつだけでなく、地域の心を一つにします。

県では、市町村と協力してこうした地域ぐるみ除排雪活動が効率よく行わ

小型除雪機械整備事業の実施目標

区分	単位	現況(59年度)	目標(65年度)
小型除雪機械整備事業	地区数	20	140



▶地域ぐるみの除排雪

れるようにするため、みなさんの自主的な計画づくりやそれに基づく小型除雪機械の整備などを積極的に支援していきます。

特に共同除排雪が効果的に行われ、みなさんの身近な居住環境が雪に強いものとなるよう新たに「無雪害まちづくり事業パトII」を展開することにしていきます。この事業では、小学校

区を単位とした地域のみなさんによる委員会などで、地域ぐるみ除排雪の体制や流雪溝などの施設の整備計画を策定していただきます。これに基づく事業実施のための助成を行うこととしていきます。

また、農業用排水路の除排雪への利用とその整備も進めていきます。



▲雪のイベントで冬もいきいき

雪に親しみ
雪の利用で
冬の
いきいき富山

冬の富山を明るくいきいきとしたものにするためには、私た

ち一人ひとりがかもつともつと雪に親しみ雪を楽しむことが必要です。

雪の立山連峰の美しい景観、ブリヤカニなど富山湾の冬の味覚、そして県内各地でのスキーなど富山の冬の魅力は限りありません。

こうした冬の富山の魅力を家族そろって共に楽しみたいもの

です。

このため、県では、市町村や民間団体とも連携しながら、今年の冬も雪に親しみ雪を考える

いろいろなイベントや行事を行います。

さらに県の冬のいきいき富山企画委員会では、冬の富山の楽しさや魅力を県の内外にアピールするいろいろのユニークなア



▲冬季スポーツで新しい雪意識

アイデアの検討を進めています。

県民のみなさんの積極的な参加を期待しています。

二、雪に鍛え雪を学ぶ元気な子供たちを育てるために、学校教育や地域において雪中運動会や雪中遊びの伝承などの機会を積極的に設けていくこととしていきます。

三、雪は、富山の豊かな水の源として、また冬の観光資源としてはもちろんですが、冷熱源等として将来の産業的利用も期待されるところです。

雪に対する
新たな
意識をもつて

雪利用技術の開発や雪室貯蔵技術の研究などこれからも雪を利用した技術の積極的な開発研究に取り組んでいきます。

冬の富山のあり方は、今、県民のみなさんの雪に対する新たな意識と決意に委ねられています。

県、市町村、そして県民みんなと一緒に雪を考え、雪と取り組んでいきましょう。

雪中低温処理による球根の早期出荷技術など農作物に関する

県民総ぐるみで雪と取り組み、克雪、利雪、親雪を通じた雪に強いきいき富山の創造を実現するためには、私たち一人ひとりが雪に対する意識を革新し、積極的な意欲と創意をもって雪との新たな関係を創り出して

